

(1) えしこにのアンケート調査について

【目的】

えしこにが開設して1年10か月が経過し、2箇所目以降の設置について具体的な検討が進められているところであり、えしこにの今後の展開と重層的支援体制整備の充実が求められている。えしこにのアンケート調査を実施することにより市民や関係機関の意識を把握し、今後のえしこにに関する施策及び次期米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画への反映を目的とする。

【調査の実施方法】

- ・ 広報よなごにスペースを設け、調査の説明とQRコードを記載して実施
- ・ WEB回答者用の回答フォームは「とっとり電子申請サービス」で作成
- ・ 紙で回答したい人は問い合わせを受けて郵送するか、えしこにに回答用紙を準備して取りにきてもらう
- ・ 一般市民用・専門機関用の2種類の回答フォームを作成予定

【主な調査対象者】

- ・ えしこにに相談した個人（本人でもつないでくれた人でも可）
- ・ 民生児童委員
- ・ 福祉専門機関（地域包括支援センター、障がいの一般相談支援事業所などの相談支援機関を予定）
- ・ 市職員

【実施時期】

- ・ 一般市民用は、令和6年市報3月号（2月末配布）に掲載
- ・ 専門機関用は、年度内に回答を集める予定

(2) コミュニティワーカーの担当地区における座談会

【目的】

米子市社協では市内7地区（啓成、車尾、義方、福米東、福米西、福生東、福生西）を重点地区としてコミュニティワークの実践に取り組んでいる。この7地区の地域団体代表者の方々と、各地区における地域活動の進め方やコミュニティワーカーと協働して取り組むべき活動等について話し合い、次期米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画に反映させることを目的とする。

【参加者】

各公民館長、地区社協会長、自治連合会長、民生児童委員協議会長、その他地域活動実践者等

【開催時期】

地区ごとに令和6年3月末までの開催を予定

【会場】

7地区の各公民館

【実施内容】

各地区の参加者とコミュニティワーカー、市社協職員、福祉政策課職員により座談会形式の意見交換会を開催する。下記の内容を中心に話し合い、これから取り組むべき活動や社協、行政への要望などを把握する。

（内容例）

- ・地区として今後取り組みたい地域活動、どのような地域づくりが必要か
- ・地域活動支援の振り返り、コミュニティワーカーに求めること、協働したいこと等

(3) 米子市の未来を担う生徒とのワークショップ

【目的】

高校生を対象に地域福祉に関するワークショップを開催し、地域福祉の現状や課題について理解を深めてもらうとともに、地域課題について意見交換を行うことで若者の多様な意見を次期米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画に反映させることを目的とする。

【参加者】

- ・ JRC（鳥取県高等学校青少年赤十字）参加の高校生（米子東、米子西、米子南、米子、米子工業、米子北斗、境港総合） 約 30 名
- ・ 米子北斗高校 1、2 年生 約 80 名

【開催時期・会場】

- ・ 令和 6 年 2 月 JRC （会場 ふれあいの里）
- ・ 令和 6 年 3 月 米子北斗高校生徒 （会場 米子北斗高校）

【実施内容】

米子市の地域福祉について現状や課題を知ってもらい、テーマに沿ってグループごとに話し合います。各グループから意見発表いただき、内容のまとめを行います。

（テーマの例）

- ・ 米子市で福祉の仕事に就いてもらうには
- ・ 子どもからお年寄りまで多世代の交流を増やすためには
- ・ ゴミ屋敷など地域で課題を抱えている方にできることを考える など